**おむつかぶれ**

おむつかぶれはよくある赤ちゃんの皮膚のトラブル

**どうしておむつかぶれができるの？**

おむつは、おしっこやうんちが外にもれないようにとあてるものですが、おしっこ、うんちが出て

そのままにしておくと,アンモニアなどの化学物質やうんちの成分の働きで皮膚をいためてしまいます。

特に胃腸炎などで下痢が続くと、うんちの成分が刺激になってかぶれをおこしてしまいます。

また、皮膚がおむつですれることも原因になります。

**おむつかぶれは予防が大切**

★おむつはこまめにとりかえましょう。

おしっこやうんちをしたなと思ったら、さりげなく見てみましょう。

外出中だったからとか夜中に面倒だからと、そのままにしているとむれてしまいますよ！！

★おしりはぬるま湯でしっかり洗って乾かしましょう。

おむつをかえるたびにおしりをぬるま湯で洗って、よく乾かしてからおむつをすれば

おむつかぶれにはなりません。また、なったとしてもすぐに治ってしまいます。

おしりふき（ぬれティッシュ）もよいのですが、時々はおむつをはずしておしりを乾かすのもよいでしょう。

★紙おむつだからと安心しすぎないように

紙おむつでも布おむつでも、まめに取りかえるのを心がければ、どちらを使っても良いと思います。

最近、紙おむつは吸湿性や通気性がよくなり、おしりがいつもサラサラになっているように工夫されていますが、長時間使用し汚れたままにしておくとおむつかぶれの原因になります。

★パウダーはやめましょう。

おむつかぶれにパウダーをつけると、粉がおしっこやうんちを吸い込んで皮膚についたままになるので

悪化することがあります。

**治療はどうするの？**

手持ちの薬を自己流で塗るのはおすすめできません。

おむつをかえるたびに洗ってもおむつかぶれが良くならないときは、かかりつけの小児科医を受診し症状にあった塗り薬を処方してもらいましょう。

塗り薬は、

**○ぬれたおむつを交換したとき**

**○うんちの後にきれいに洗ってから**

**○入浴後**

に塗ってあげてください。

なお１ヶ月未満の赤ちゃんや、胃腸炎で下痢の回数が多い場合は、うんちのたびにおしりをきれいに

洗うのを忘れずに。

**おむつかぶれが長引くときはカンジダ皮膚炎かもしれません！！**

おむつかぶれが長引いたり、安易に市販薬やステロイド入りの薬を塗り続けていると陰部や

おしりの周りが痛々しいくらい真っ赤になり、さらに皮膚が薄くむけてくることがあります。

こんなときは一度受診してください。カビの一種であるカンジダによる皮膚炎が考えられます。

一般的のおむつかぶれの薬は効きませんが、カビに効く塗り薬をつけるとよりよくなります。

**おしりのトラブルあれこれ**

生後まもない赤ちゃんの肛門周囲にびらん（赤いただれ）が見られることがあります。

新生児はうんちの回数が多いため、皮膚を刺激して生じると考えられています。

うんちをしたら早めにぬるま湯できれいに洗い、よくならないときはかかりつけ医へ。

**肛門部のイボ**

赤ちゃんの肛門部にイボのようなものができることがあります。

これは、便秘のため便が硬くなり、切れ痔となってできたものです。

おしりのケアと便秘の治療が必要なこともあります。